

私が学習面について特に言っておきたいのは、今までどんなに勉強ができなかったとしても、どこかのタイミングでやる気を出すことができれば必ず勉強ができるようになるということです。私は高校3年次の9月に部活動を引退するまで、ほとんどの時間を部活動に費やしており、勉強はほとんどしていませんでしたが、部活動を引退した後は、受験に間に合わせるため、今まで部活動に使っていた時間をそのまま勉強に充てるような気持ちで勉強しました。そのため、私は他の人とは違い、塾などにはもちろん行っておらず、参考書はおろか課外なども受講していませんでしたが、教科書や授業で配付された教材などを活用して第一志望の大学に合格することができました。こと共通テストという点について言えば、難化の年ではありましたが、本番で自己ベストを更新し、第一志望の大学よりも上のレベルの大学にも届くようなかなり良い点数を取ることができました。私のように、茨高では、どれだけ勉強ができなくても、勉強を頑張ろうという気持ちさえあれば、先生方のサポートや、学校の授業のおかげで、結果的に勉強ができるようになります。これについては逆も然りで、同じことがいえるため、強い意志を持って勉強に取り組むことが大切だと思います。

私は吹奏楽を茨高でやりたいという思いで入学したため、特に吹奏楽部での出来事が、高校生活の思い出の大半を占めています。もちろん夏のコンクールや、それ以外の大会についてもたくさん思い出がありますが、3年間の部活動の中で、特に高校2年次の定期演奏会が記憶に残っています。この年の定期演奏会は、会場が長年やってきた場所から変更になったり、時間が例年と変わっていたりなど初めてのことばかりであり、そんな状況の中で演出を作り上げたり、外部の人と話し合いを重ねたりするといった経験は、吹奏楽部でなければ味わうことのできない経験だと思います。周りの大人の助けを借りながらも、自分たちが主体となり、一つの大きなイベントを作り上げるという達成感は唯一無二であり、定期演奏会が無事終演した直後の会場で味わったあの感覚は、いつまでも忘れることのできない、私にとっての高校生活での最高の思い出です。

部活動の話ばかりになってしまいましたが、私が茨高の良いところと思うのは、部活動をやるタイミングなど、様々なタイミングで地域からの信頼を感じられるということです。茨高は水戸市内の学校に限らず、県内の学校すべてと比べても、地域のイベントへの出演や、吹奏楽の大会の運営補助に呼ばれることの多い学校だと思います。地域からの信頼や、大会の運営本部などからの信頼がなければこのような機会はいただけず、私自身がここまで部活動を楽しむことができたのは過去の茨高の積み重ねがあったからこそだと思います。部活動に限らず、様々な信頼や、活動実績が茨高にあるからできることがたくさんあります。そういった点が、茨高が他の高校とは大きく異なる点であり、他にはない茨高の良さだと思います。

私が静岡大学を選んだ大きな理由の一つに、大学でも吹奏楽を続けつつ、自分の夢を叶えるための準備ができる大学が静岡大学であった、ということがあります。吹奏楽を続けながら、自分の夢である教師になることができるように、自分の望んだ場所で、吹奏楽を楽しみながら、勉学に励み、自分の憧れた先生のようになれるように努力していきます。